

「四国コンテンツ映像フェスタ2021」上映審査会・表彰式を開催

《四国を元気にする映像作品を上映・表彰》

四国総合通信局(局長:磯 寿生(いそ としお))は、四国情報通信懇談会(会長:泉 雅文(いずみ まさふみ)四国旅客鉄道株式会社相談役)とともに、令和4年1月28日(金)にハイブリッド形式で「四国コンテンツ映像フェスタ2021」上映審査会・表彰式を開催し、194名(現地参加13名、オンライン181名)の方にご参加をいただきました。

今年で15回目の開催となる本フェスタは、動画コンテンツの制作を通じた人材育成の促進と地域の活性化を目的に毎年開催しているもので、今年度は「四国を元気にする！」をテーマに作品を募集したところ、過去最高の97作品もの応募がありました。WEB投票、審査員審査を経て選出されたノミネート作品12作品について、上映審査会・表彰式を開催しました。

上映審査会・表彰式に先立ち、第一部として講演会を実施しました。講演会では、東温市出身で、映画監督・脚本家として第一線でご活躍されている渡部 亮平(わたなべ りょうへい)氏に、「脚本家・映画監督になる方法」と題して、オンラインによりご講演いただきました。講演会には、済美平成中等教育学校の中学2年生120名も授業の一環として参加し、渡部氏と質疑応答により交流しました。地方出身の自分がどのようにして脚本家・映画監督になったのか、ご自身の経緯や体験を踏まえてお話されるとともに、少年式を迎えた中学生に対しては、人とのつながりを大切にしながら夢の実現に向けて頑張ってもらいたい、とエールを送られました。

第二部は、「小・中学生」、「アマチュア」及び「プロ・セミプロ・自治体」の部門別にノミネートされた12作品を上映し、制作者による作品のPRや審査員による講評を行う上映審査会を実施し、第三部は「最優秀賞」、「優秀賞」、「特別賞」、ゲスト審査員の渡部氏が選出した「審査員特別賞」、応募作品の傾向や社会情勢等を考慮し、審査員長が必要と判断した場合に柔軟に設けることのできる賞として昨年度から新設された「審査柔軟枠」の「コロナに負けるな賞」について表彰式を行いました。

今年度は、コロナウイルスの感染状況を踏まえ、初めて現地会場及びYouTubeによるライブ配信を併用したハイブリッド形式にて開催することとなりましたが、参加者からは、「オンラインでも十分表彰式の雰囲気を感じ取ることができた。」等概ね好評な意見が多数ありました。また、「色々なグループの作品を客観的に視聴することができて良かった。審査員の方々の講評も作品をよく観ていただいているなど感じ、大変ありがたかった。」「他の作品の内容を改めて確認し、審査員の講評をお聞きすることで専門的な見解に触れることができ、参加自体が大変有意義なものだった。」等の意見が寄せられました。四国総合通信局は今後もフェスタを通じて、映像制作に関する人材育成と地域活性化に取り組んでまいります。



四国コンテンツ映像フェスタ2021

上映審査会・表彰式



【第一部 講演会】

演題：「脚本家・映画監督を仕事にする方法」

講師：映画監督・脚本家 渡部 亮平氏

【第二部 上映審査会】

ノミネート作品の上映

制作者によるPR及び審査員による講評

【第三部 表彰式】

最優秀賞、優秀賞、特別賞、審査員特別賞、審査柔軟枠の表彰



最優秀賞



【小・中学生部門】
「思いを繋ぐ徳馬田」
チーム「花時理素+進九」
(大洲市立平野中学校第2学年)様



【アマチュア部門】
「映画「ハイスクールは水族館」予告編」
長浜高校生徒会
(愛媛県立長浜高等学校2年・3年)様



【プロ・セミプロ・自治体部門】
「きゅんです。松山旅」
松山市産業経済部観光・国際交流課様

審査員特別賞



【プロ・セミプロ・自治体部門】
「水産王国えひめシマアジPR動画」
愛媛県農林水産部水産局漁政課様

★ 受賞した全12作品をご覧ください ⇒ [四国コンテンツ映像フェスタ専用サイト](https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/) <https://www.shikoku-ictcon.jp/scvf/>

【お問い合わせ先】情報通信部 電気通信事業課 089-936-5044